

畳敷きにした区画の作成

文書管理番号：1041-01

Q. 質問

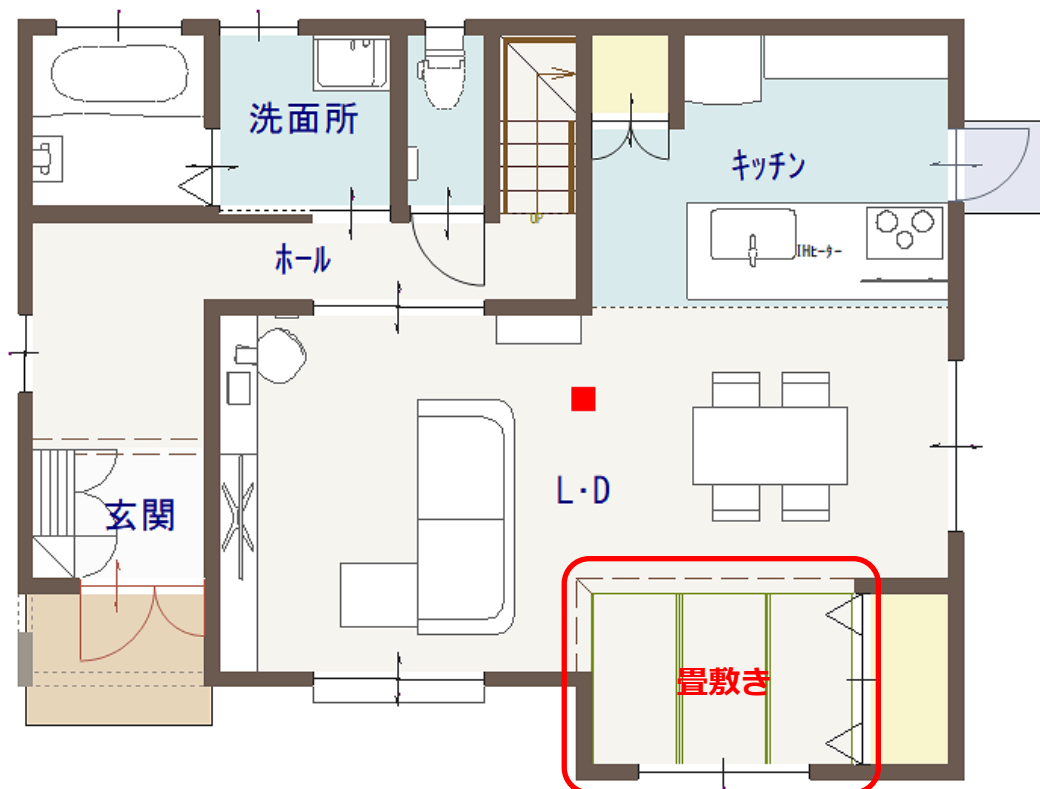
リビングの一部に畳を敷きたい。

リビングの床と畳はフラットになるようにしたい。




A. 回答

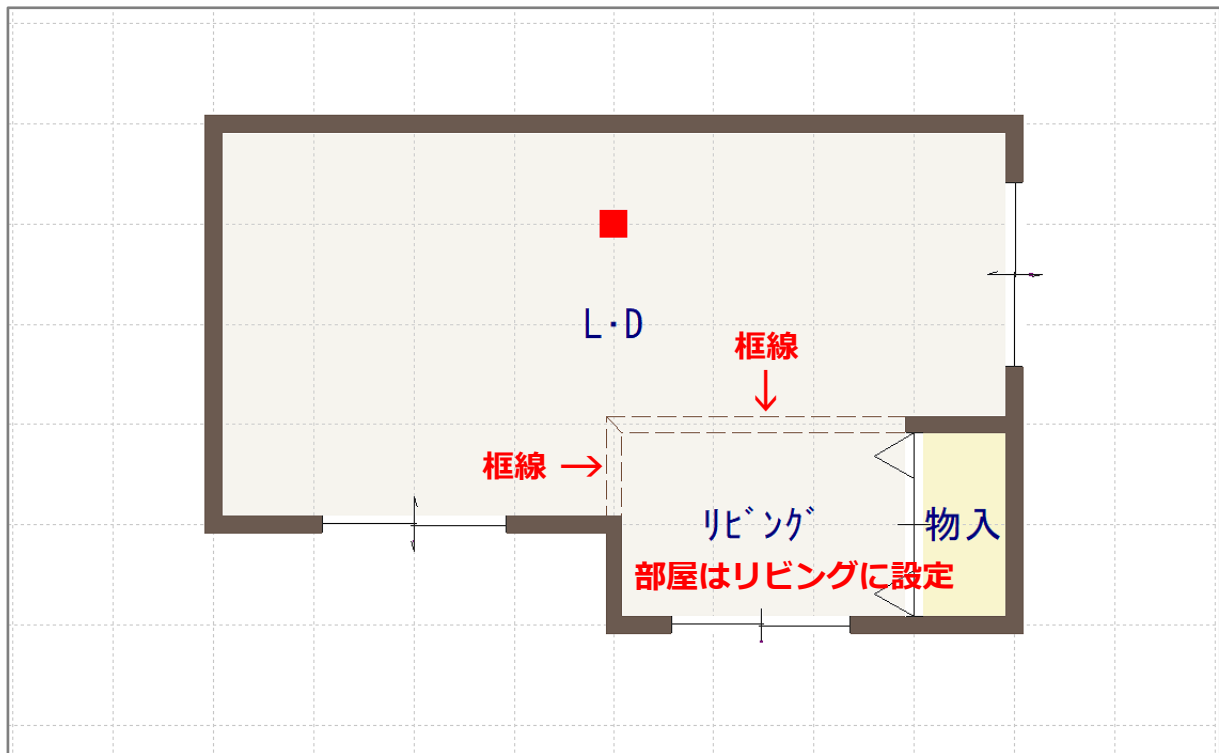
リビングの一部を畳敷きにする場合は、畳を敷く範囲を全開口や框線で区切り、畳を配置後に、床高を畳の厚み分だけ下げて、天井高を合わせます。


下のようなリビングの一角を畳敷きにする作成方法を説明します。






操作手順 *間取りは簡略化しています● **区画を作成し、畳を配置**

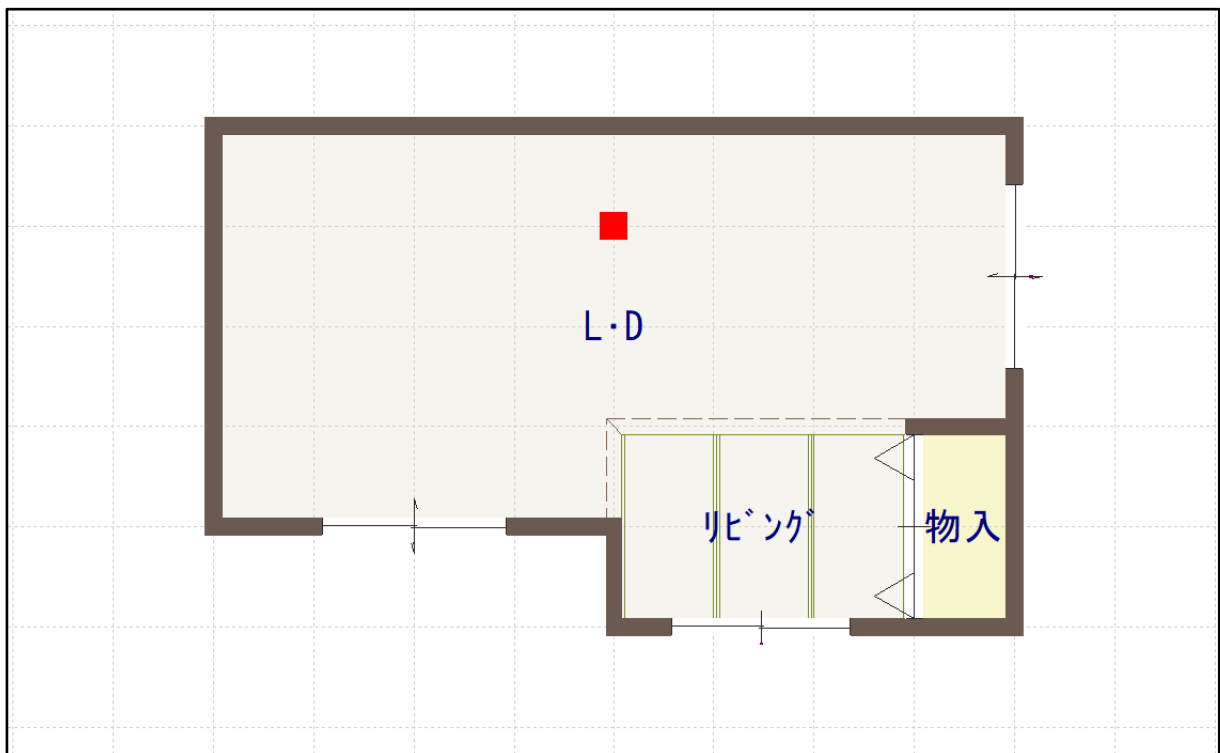
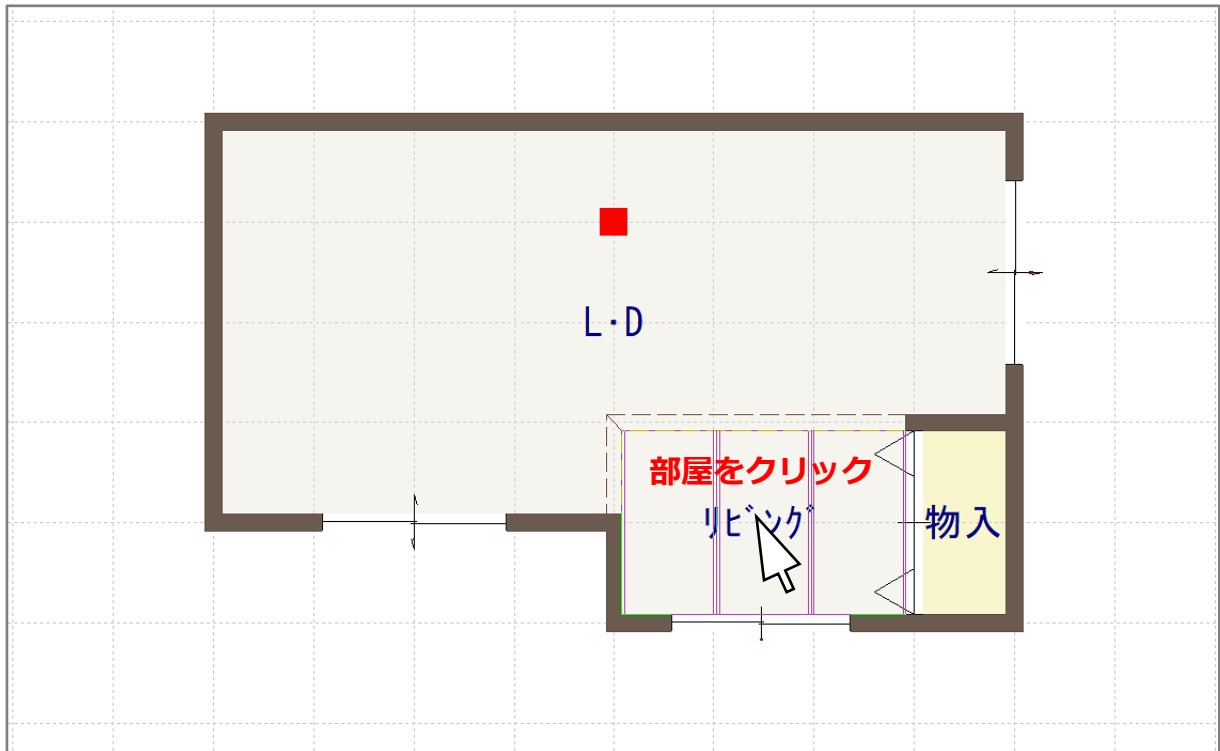
- ①  (プラン図)で、 (壁)の (枠線)をクリック
- ② 畳を敷く範囲を枠線で区切り、部屋は「リビング」に設定




*  (全開口)で範囲を区切ってもかまいません。

③  (畳)から  (3畳 A)を選択し、 (部屋指示配置)で畳を配置する部屋をクリック

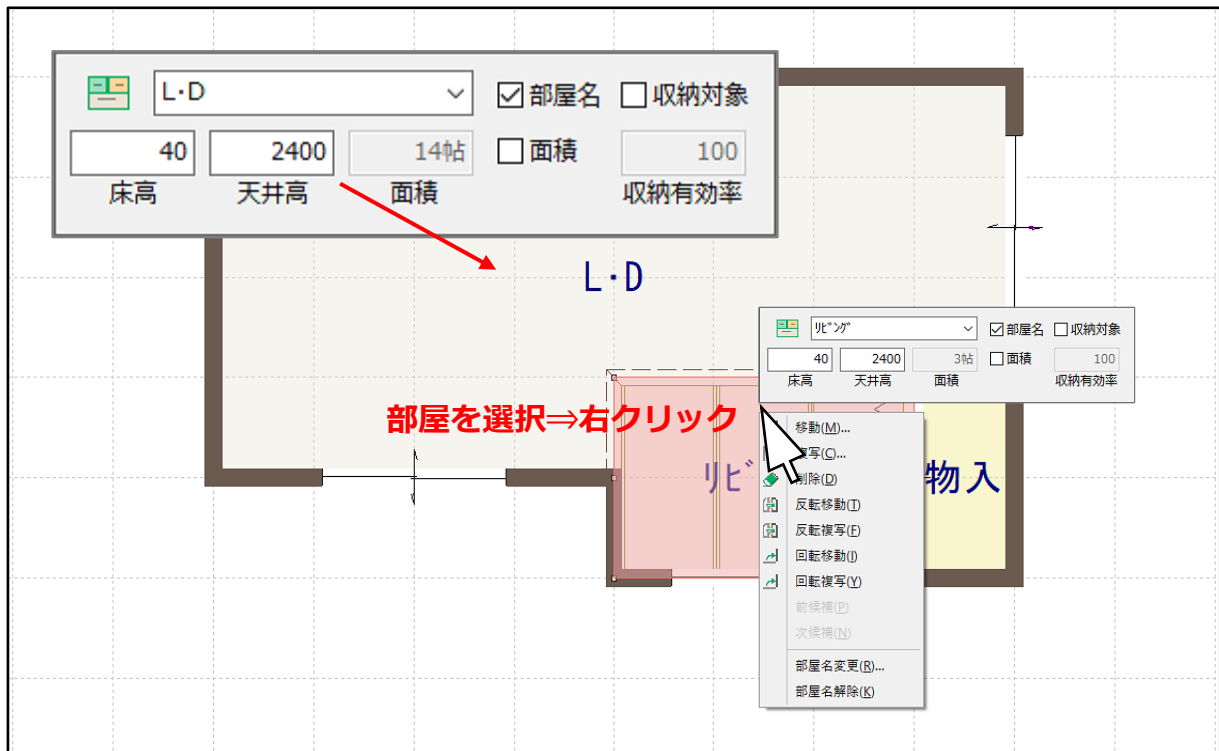
* マウスを動かすと、プレビュー表示される畳模様の方向が変わります。目的の畳模様の方向が表示されている状態でクリックすると、畳が配置されます。



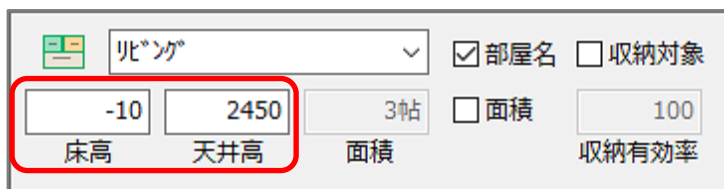
* 琉球畳にしたい場合は、 (その他)から畳の枚数を設定し、「市松敷き」にチェックを入れて配置してください。

● 畳を配置した部屋（リビング）の床高・天井高を変更

④ (要素選択)で、畳を配置した部屋（リビング）を選択後、右クリック



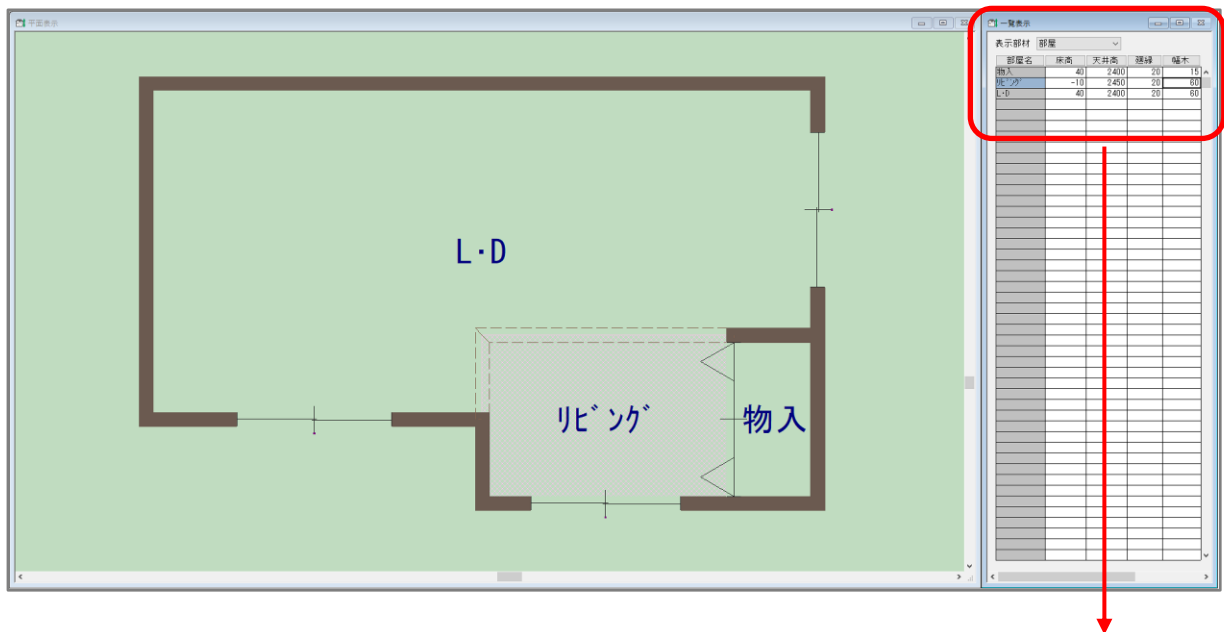
⑤ 部屋のスマートメニューで、床高と天井高を調整



- * 畳の厚みは 50mm です。
- * ここでは、隣接する L・D の床高を 40mm、天井高を 2400mm としますので、
 リビングの床高は、(L・D の床高 40mm) - (畳の厚み 50mm) = -10mm
 リビングの天井高は、(L・D の天井高 2400mm) + (畳の厚み 50mm) = 2450mm
 となります。
- * 床高・天井高は、 (物件概要)で設定している「建物タイプ」により異なります。
 ここでは、「建物タイプ：木造根太レス仕様」に設定しています。

● 高さ設定で、幅木の高さを調整


- ⑥ クイックメニューの (高さ設定) をクリックし、 (一覧) をクリック



- ⑦ 表示部材が部屋であることを確認し、畳を配置した「リビング」の部屋の「幅木」の数値を「110」mm に変更



* P.4 の操作⑤で床高を 50mm 下げた分、幅木の位置も下がるので、幅木の上端を隣接する L・D と合わせるため、幅木の高さ 60mm に 50mm を追加し、110mm とします。

⑧  (3D パース)で確認



【参考】

一段高くなった畳コーナーや小上がりの作成は、こちらをご覧ください。

[\[1042\]小上がりの畳コーナーの作成](#)